戦争はゼッタイにダメ！

77年前、国民の多くは心底からそう思いました。

戦争したら必ず人は死ぬ！
敵も味方も・・・

だから、戦争しない、できない国にしようと考え

戦争放棄の9条を持つ、日本国憲法を定めた

自衛隊は発足以来、戦争で誰一人殺していませんし、殺されてもいません。

ロシアが始めたウクライナ戦争の実態を見て

攻められないように、日本は、軍備増強し、アメリカと核兵器を共有し、軍事予算を大幅に増やし攻撃に備えなければ・・・と叫ぶ人たちがいます。

軍備増強したら、相手も「自衛のため」増強し、緊張が増す・・・
そして、ちょっとしたことで戦争がはじまる。

これがウクライナの実態ですし、このままでは東アジアもこのようになるでしょう。。

77年前の決意に戻りましょう！

私たちは、日本国憲法前文で、「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」と述べています。ウクライナの人々も、ロシアの人々も「平和のうちに生存する権利」があることを確認し、誰もが戦争で傷つくことをなくそうではありませんか。

日本が戦争放棄の憲法を持つ国として、世界の人々にウクライナ戦争の停戦を呼びかけ、日本自身も平和国家を貫きましょう。そのためには、国民の力で憲法 9 条を守り抜き、アメリカに付き従うだけでなく、自主的な平和外交を進めるよう、日本政府に求めましょう。

憲法 9 条京都の会（TEL：050-7500-8550）